

# 第9回 地域づくり小委員会

2020/2/18 地域づくり小委員会事務局

## 《 議 事 》

- 1) 利活用の取り組み1（話題提供：委員事案より）
- 2) 地域づくり小委員会（委員会事案・事務局事案）
- 3) 利活用の取り組み2（委員事案）
- 4) その他

- 
- 
- 2016/1/27** 第1回地域づくり小委員会(出席者38名) H27
- ・ 「自然再生推進法」および「釧路湿原自然再生全体構想」について説明(事務局)
  - ・ 釧路湿原における10年間の自然再生事業の取り組みについて説明(事務局)
  - ・ 釧路管内の観光の現状について説明(事務局)
  - ・ 地域づくり小委員会の進め方について説明・・・「湿原と持続的に関われる社会づくり」に向けて、現在の「行為目標」「成果目標」の提示(事務局)
  - ・ 自己紹介、意見交換(地域づくりの考え方、やってみたいこと、現状の課題など)
- 
- 2016/9/28** 第2回地域づくり小委員会(出席者27名) H28
- ・ 参加団体の取り組み状況の報告 ①釧路湿原散策ツアー(釧路観光コンベンション協会) ②地域づくり活動(タンチョウ保護研究グループ)
  - ・ アンケート結果の報告(事務局)
  - ・ 地域づくり小委員会の進め方について意見交換・・・ワーキンググループに分かれて作業という提案が出る
- 
- 2017/2/14** 第3回地域づくり小委員会開催(出席者33名)
- ・ ワークショップ実施
    - 6グループに分かれ、「参加委員の活動内容の情報共有」(前半)、「小委員会で議論したい内容」(後半)について話し合う
- 
- 2018/2/13** 第4回地域づくり小委員会(出席者25名) H29
- ・ 話題提供 ①鶴居村における農泊の取り組みについて(美しい村・鶴居村観光協会)  
②海鳥を取りまく自然環境の保全と羽幌の地域振興の両立に向けて(竹中康進委員)
  - ・ アンケート、ワークショップの結果を踏まえ、今後の取り組みおよびテーマについて・今後の進め方について議論
    - 今後の進め方:行為目標である「観光」「産業連携」「ルール」の3つについて、今後取り組んでいきたいテーマならびに具体的な取り組み案についてアンケート調査を行い、とりまとめる
-

2018/7/2

## 第5回地域づくり小委員会

H30

- ・ 佐野修久委員長、平岡俊一委員長代理の退任、中村研二委員長、鈴木信委員長代理の就任
- ・ 話題提供: 亀山哲委員: 未利用農地の分布の定量化、水質の浄化機能
- ・ アンケート結果を報告(具体的に取り組むテーマ)
- ・ 事務局提案として「産業利用ガイドブック」の作成を提案
  - －ガイドブックの目的や活用方法などに対する意見
  - －これまでの提案された実行案の進展がないことへの意見

2018/10/24

## 第6回地域づくり小委員会

- ・ 産業活用ガイドブックづくり
- ・ 今後の進め方(ガイドブック作成工程、資源さがし)
  - － ガイドブックの目的や活用方法などに対する意見
  - － 小委員会の進め方自体に対する意見

2019/3/20

## 第7回地域づくり小委員会

- ・ 話題提供: 鈴木信(ラムサール条約釧路会議当時の取り組みとその後)
- ・ 小委員会のアウトプットは3部構成
- ・ 活用に向けた具体策の検討
  - － 6グループに分かれ、取り組み案の話し合いを行い発表
  - － 出された意見は、事務局で実行案を整理して、第8回に報告

2019/7/26

## 第8回地域づくり小委員会

R01

- ・ 話題提供: 小林聡史(釧路公立大学教授)ラムサール条約と世界のワイズユース事例
- ・ 実施プランの進め方
  - － 関連委員事案、委員会事案、事務局事案に分けて進める
  - － 委員会事案として、まずガイドライン作成を進める

2020/2/18

## 第9回地域づくり小委員会

### 【H31.3.20】第7回地域づくり小委員会

- ・地域づくり小委員会のアウトプットは3部構成

第1部: 釧路湿原の現状(釧路湿原の資源+釧路湿原の法規制)  
第2部: 他地域に見るワイズユース  
第3部: 釧路湿原の新たな活用と作法(活用の具体策とその作法)



第3部の抽出したアイデアを踏まえ、  
実行案(Do)に向けて事務局が整理して提示

### 【R1.7.26】第8回地域づくり小委員会

- ・第1部、第2部は継続して事務局が収集整理していく
- ・第3部の実行案(Do)に向けて
  1. 「新規活用プラン」は各委員が小委員会を活用して進める
  2. 小委員会の事案として、「カヌーや釣りの作法・マナーづくり」を進める
  3. 事務局の事案として、「地域づくりビジョン」の作成を進める



実行案は、カヌーのガイドラインなど取り組めるものから推進

**今回**

グループ1

グループ2

グループ3

グループ4

グループ5

グループ6



① 自然再生の果実をもつ発信

- ・かわまち かわにび シーニクハイウェイ
- ・防災・減災の情報発信
- ・ワイズユースのシンポの開催

② 金釣りのガイドライン

- ・SDGs ... 1次産業の発展の提案

③ フラント (ブランドカ) (足利でいい)

- ・カーン 「世界」 発信
- ・任意 → 法人化? → 独立?
- 目次資金などの受け皿

④ 周遊 マルチハブ・パストレル (感動 いやし 住居)

- ・湿原全体のガイドライン
- ・人と湿原の関わり (雨杯の遊歩 物語・ストーリー)

⑤ 湿原の「聖」世化 (ブランド化) → 4つの自然

- 自然と共存しこみ作り
- 展望台の透明取捨
- 湿原全体のマナーづくり

マリンコースのこの2つは 未来 99%の 天白川の 利用 川上にはカヌーセ釣りがある。 金川 米田 泉の活用

⑥ 湿原の楽しみ方 (ドローン 気球 ハリコウ)

- ・地元の人への再発見
- ・140kmを 歩く 自転車 カヌー } 楽しみ方 アクティビティプラン

子役 若者19 アピール

## 地域づくり小委員会の中で出た利活用に関する意見(Doのアイデアまとめ)

## 【具体的な利活用】

- ・子供たちの湿原体験
- ・泥炭のふわふわ体験
- ・空気浴(森林浴)
- ・ウィンターカヌー(冬期活用)
- ・川流れ、飛び込み
- ・飛行船による遊覧飛行
- ・カヌーマラソン
- ・フットパス、ホースライディング
- ・湿原開拓軌道の再運行
- ・観光ホバークラフト
- ・絵画展(鶴、子供)
- ・外来種防除
- ・国立公園クリーンデー、ゴミ拾い
- ・サケ稚魚放流
- ・釧路川へ通水
- ・湿原の体験型観光スポット
- ・未利用地の活用(木道などの設置)
- ・サルルンカムイの道
- ・マルチパーパストレイル
- ・ドローン、気球、ヘリコプター
- ・140km自転車、カヌー

## 【施設の充実】

- ・カヌー用のハット(宿泊小屋)
- ・トイレの充実
- ・魚類観察施設
- ・駅や市中心部に湿原観光の拠点
- ・展望台の通景伐採
- ・道路の整備

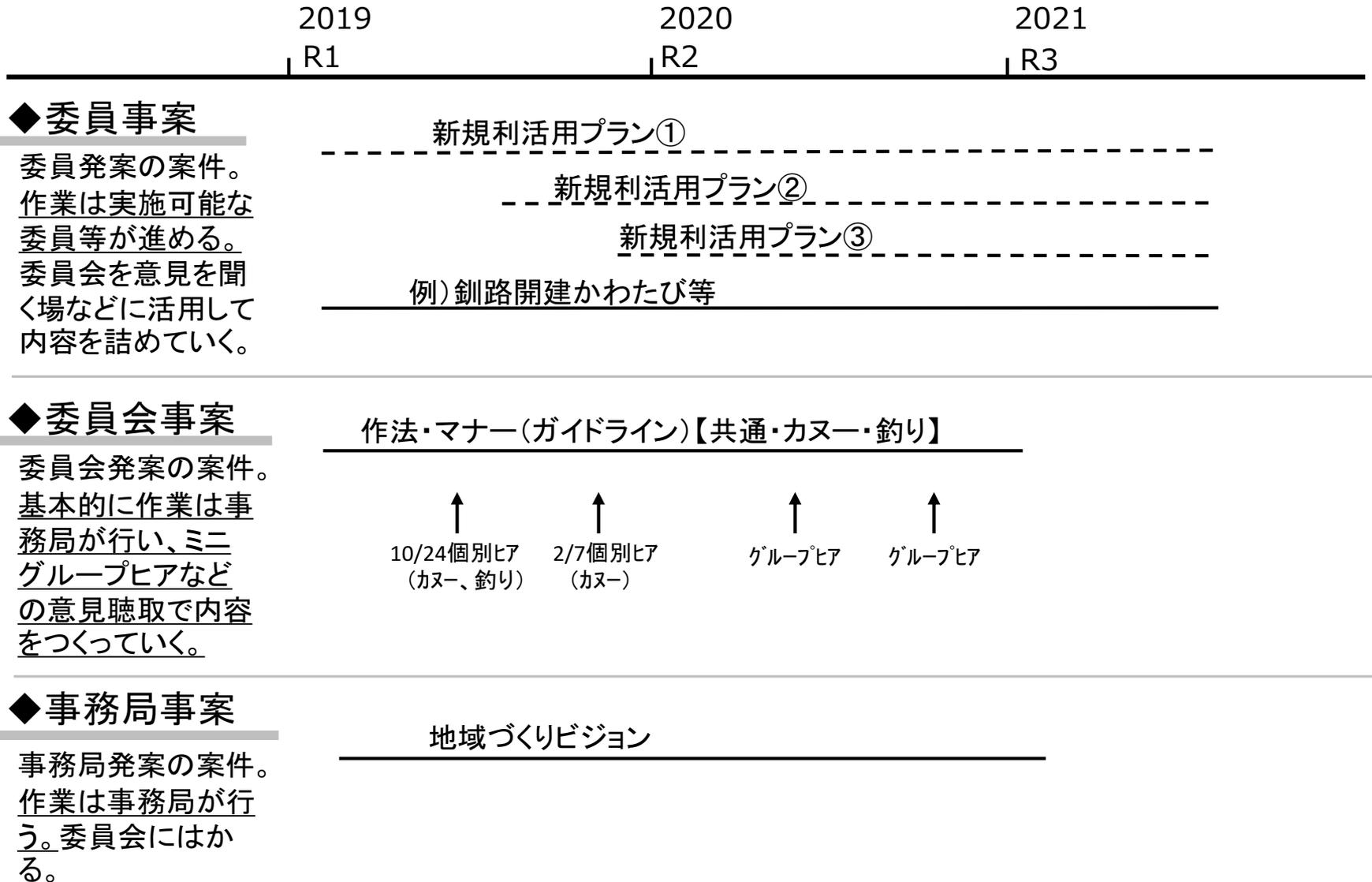
## 【情報発信、PR】

- ・アクティビティカレンダー
- ・自然再生の統一デザインの標識
- ・アウトドア系代理店によるファムトリップ
- ・公共交通機関アクセス情報、モデルルートの設定
- ・子供たちによるガイド、支援
- ・湿原開拓期の暮らしの記録と発信
- ・外国人向けの多言語の情報発信
- ・観光客への大規模アンケート
- ・カヌー安全講習会
- ・スーパハイビジョン映像の撮影、上映
- ・海外の湿地との連携
- ・JICAの湿原をテーマに研修
- ・札幌地下歩行空間でのパネル展
- ・湿原のガイド資格制度
- ・ガイドのレベルや質の統一
- ・ガイドライン作成
- ・湿原検定
- ・蓄積されたデータの活用

## 【ブランド力向上】

- ・ロゴマーク、キャッチフレーズ
- ・湿原サポーター証
- ・湿原への入場料、グッズへの自然保全料

具体プラン(Do)を並行させて進めていく。委員会にはかりながら、作業はそれぞれで行う。



## 委員会事案

(作法・マナー、カヌーガイドライン更新の取組み)

## ●コンセプト

『湿原を楽しく安心して利用できる環境を整え、釧路湿原のブランドイメージの向上を図る。来訪者の釧路湿原の保全・再生への共感を得る。』

### ◇基本的考え方

- ・ルールのなかで安心してカヌーを楽しめる環境づくり(規制を強めることが目的ではない)
- ・作法の浸透が釧路湿原のブランドにつながる。

### ◇ガイドライン更新でのポイント

- ・内容をさらに充実させることで、来訪者がぜひほしいと思うものにする。
- ・国内外でネットで入手した人が釧路湿原に来たくなるパンフの役割も果たす。
- ・来訪者に自然再生を行っていることに共感してもらう情報提供戦略のひとつ。

### ◇地域づくり小委員会としての意義

- ・利用者の湿原再生への共感が釧路湿原に来たことの満足感をさらに高める
- ・来訪者が湿原を大切に利用するようになることで、地域に対する意識が育まれる。
- ・作法を理解した来訪者が地域全体へ訪れ、地域との交流につながっていく。(地域還元)

## ●背景(いまなぜ改めてガイドラインか)

### ◇観光客の変化・利用者が多様化

- ・高齢層の長期滞在、外国人観光客
- ・ゆとり社会で本質を楽しむ余裕ある観光客が増えている

### ◇情報の伝え方を時代にあわせる

- ・利用者の情報収集はネットが中心
- ・端末(パソコン、スマホ)、ツール(情報サイト、SNS、口コミ)
- ・最新情報の更新と提供、情報の古さは信用低下につながる

### ◇自然のなかでの個人の安全感覚の低下

- ・軽い目的での行動・利用増(インスタ)
- ・子供の頃に自然のなかで遊んだ経験が少ない世代の利用

### ◇釧路湿原のブランドイメージの向上

- ・作法の浸透、カヌーの聖地としての魅力向上
- ・自然再生に至る歴史と取組みを伝えて共感を得る
- ・釧路湿原のファンが広がり、ファンが湿原を守る
- ・地域の地元への愛着

## ●取組みの方向性(1/3)

### ◇方向性①

多様化する観光客のニーズに対応するとともに、インターネット社会の進展に応じた様々な媒体を通じた情報発信により釧路湿原の魅力を伝える。

背景の「観光客の変化・利用者が多様化」「情報の伝え方を時代にあわせる」に対応するもの。

### ◇方向性①の具体策(案)

- ・外国人利用者を想定した多言語対応
- ・誰でも、どこにいてもダウンロード可能な電子データとして作成し、自然再生協議会HPに掲載
- ・配布用として概要版(A3両面程度)を作成
- ・スマホで情報収集しやすいよう、カヌーポートにQRコードを設置
- ・カヌーポート、侵入禁止箇所、トイレ、見どころ等をスマホで地図上に表示可能なKML形式で提供

●取組みの方向性(2/3)

◇方向性②

初心者にもわかりやすい安全対策、釧路湿原を保全し楽しく利活用する上でのルール等を醸成し、秩序ある利用を促すことで、釧路湿原のブランド価値の向上に繋げる。

背景の「自然のなかでの個人の安全感覚の低下」に対応するもの。

◇方向性②の具体策(案)

主な更新内容	ガイドラインでの対応(案)
古くなりつつある情報の更新	危険箇所等を含む情報マップの更新、連絡先の見直し等
安全対策の充実	事故防止にむけた留意点、最低限の装備等

●取組みの方向性(3/3)

◇方向性③

作法の浸透や釧路湿原の魅力・歴史を発信することで、釧路湿原のブランド価値を高め、将来的な地域産業の発展(潤い)への貢献を目指す。

背景の「釧路湿原のブランドイメージの向上」に対応するもの。

◇方向性③の具体策(案)

主な更新内容	ガイドラインでの対応(案)
作法の浸透	ガイドラインの作成趣旨の明文化
釧路湿原の魅力発信	魅力的な地図、モデルコース、近くの観光・グルメ情報等
自然再生に至る歴史・取組み	自然再生の取組み経緯
ローカルルールの記載、周知徹底	むやみな上陸の抑制等

## ガイドラインは本編と概要版の2部構成

### 【本編】

- ・情報を網羅した冊子版
- ・楽しみ方等の情報も含めて地域貢献に繋げることに重点を置く
- ・自然再生協議会HPでの掲載を想定

### 【概要版】

- ・胸ポケット版(A3版1枚を折り込む)
- ・現地で携帯する利用を想定した安全対策やルール等に重点を置く
- ・HPでの掲載、紙媒体(A3版1枚)での配布を想定

### 【骨子】(1/4)

#### 1. ガイドライン改定の趣旨【本編】…方向性①③

- ・現行の「ガイドライン策定の目的と背景」を記載しつつ、下記の内容等を追記。
  - ・公表から15年が経過し、カヌー利用が盛んになっていること。
  - ・ルール・マナーを周知することで、利用者が安心してカヌーを楽しめるよう望むこと。
  - ・カヌーの楽しみ方、見どころ、カヌー前後の過ごし方(宿泊、グルメ・観光など)を提案し、周辺地域の魅力を知ってもらいたいこと。
  - ・自然再生に至る歴史を伝え、釧路湿原を保全する意義を知ってもらいたいこと。

方向性① 必要情報・伝達方法  
 方向性② 安全・装備  
 方向性③ 作法・魅力発信

【骨子】(2/4)

方向性① 必要情報・伝達方法  
 方向性② 安全・装備  
 方向性③ 作法・魅力発信

2. 釧路湿原の歴史と自然再生の取組み【本編・概要版】…方向性③

- ・釧路湿原の希少性や現在直面している課題を記載。
- ・自然再生に至る経緯や取組み概要を記載。
- ・以上を通して自然再生に対する理解や共感を得ることを願う旨を記載。

3. 釧路川流域の概要【本編・概要版】…方向性③

- ・現行の「釧路川流域の概要」を記載しつつ、下記の内容等を追記。
- ・釧路湿原の魅力が伝わる周辺エリアの斜め写真、風景写真の紹介。
- ・四季を通じた魅力について風景写真や動植物写真とともに紹介。

4. 釧路川の保全と利用の基本理念【本編・概要版】…方向性③

- ・現行の「釧路川の保全と利用の基本理念」を記載。

5. 釧路川でのカヌーの楽しみ方(モデルコースの紹介)【本編】…方向性③

- ・カヌーからの風景写真とともに、モデルコースを3コース程度紹介。
- ・個人で楽しむ場合の発着地点へのアクセス路等の情報記載。
- ・カヌーポイント周辺の宿泊、観光、グルメ情報を紹介。

## 【骨子】(3/4)

方向性① 必要情報・伝達方法  
方向性② 安全・装備  
方向性③ 作法・魅力発信

## 6. カヌーを安全に楽しむために【本編・概要版】 …方向性②

## 6-1 安全利用の基本事項

- ・現行の「カヌー利用の基本事項」の救命胴衣や専用ウェアの着用を記載しつつ、下記に留意。
- ・初心者にも分かりやすいよう、イラスト付きで必要最低限の装備・服装等を紹介。

## 6-2 釧路川の特徴と注意事項

- ・現行の「釧路川の特徴と注意事項」の転覆の原因等を記載しつつ、下記に留意。
- ・初心者でも理解しやすいよう「なぜ注意する必要があるのか」について記載。
- ・出来るだけ具体的な情報の記載。(例:水温、気温など)
- ・携帯電話不通エリアについて確認・記載

## 6-3 事故発生時の対応

- ・事故発生時の連絡先、伝達内容を記載。

## 6-4 乗船前の最終チェックシート

- ・前項までの内容を箇条書きにしたチェックシートを記載。
- ・例)  ライフジャケットを着用しましたか？  
 入川受付ボックスに投函しましたか？

【骨子】(4/4)

方向性① 必要情報・伝達方法  
 方向性② 安全・装備  
 方向性③ 作法・魅力発信

7. カヌーのルール・マナー【本編・概要版】 …方向性②

7-1 釧路湿原を守るための基本事項

- ・むやみな上陸、ゴミのポイ捨て、に関するルール・マナーの記載。
- ・事前にトイレを済ませること、既設駐車場利用等の推進事項の記載。

7-2 タンチョウ等水鳥に対する配慮事項

- ・現行の「タンチョウ等水鳥に対する配慮」より記載

8. ガイドラインの普及・啓発【本編】 …方向性③

- ・現行の「ガイドラインの普及・啓発」より記載

9. 各種情報【本編・概要版】 …方向性①

- ・カヌーガイド一覧、緊急連絡先一覧、お役立ち情報(天候、河川水位がわかるURLなど)の記載。

10. 釧路湿原カヌーマップ【本編・概要版】 …方向性①

- ・現行版の情報更新、魅力的な地図へのブラッシュアップ。

## 関係者と協議・検討を行い、実行可能な施策を推進していく。

### ①WEB発信

- ・自然再生協議会HP
- ・カヌー事業者HP、自治体HP

### ②紙媒体の配布

- ・カヌー事業者
- ・自治体の情報発信ブース
- ・レンタカー業者、観光案内所、観光協会、旅行代理店
- ・宿泊施設、キャンプ場、アウトドアショップ

### ③ダウンロード可能なQRコードの設置

- ・カヌーポート

### ④利活用の促進

- ・欲しくなるガイドラインの作成 ... (例)魅力的な地図、観光情報等の掲載
- ・特典付きガイドライン ... (例)カヌーポートスタンプラリー

### ⑤Youtubeによるカヌー動画の配信

- ・「かわたびほっかいどう」HP等への動画・ガイドラインの掲載

### ⑥保全意識等の醸成

- ・特典付きアンケート ... (例)湿原面積が減少している事を知っていましたか？

### ⑦ブランドイメージの向上

- ・カヌーフォトコンテスト

2019  
R1

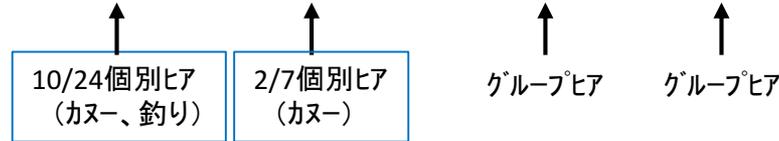
2020  
R2

2021  
R3

◆委員会事案

委員会発案の案件。  
基本的に作業は事務局が行い、ミニグループヒアなどの意見聴取で内容をつくっていく。

作法・マナー(ガイドライン)【共通・カヌー・釣り】



P6の再掲

■ カヌーガイドライン作成に向けたヒアリング

【2019/10/24 個別ヒアリング】

出席者： 釧路マーシュ&リバー・齋藤氏、釧路湿原とうろの宿・小川氏

【2020/2/7 個別ヒアリング】

出席者： 釧路マーシュ&リバー・齋藤氏、釧路湿原とうろの宿・小川氏

■ 釣りガイドライン作成に向けたヒアリング

【2019/10/24 個別ヒアリング】

出席者： 釧路市立博物館・野本氏

来年度はグループヒアリングを開催し、ガイドライン作成に向けて意見聴取を行う。

委員会事案・事務局事案  
(今後の成果物)

## 地域づくり小委員会成果の第一次とりまとめ

### ○内容

第1部：釧路湿原の現状（釧路湿原の資源＋釧路湿原の法規制）

⇒委員等より提供のあったガイドラインやリーフレット等をリスト化

⇒掲載のある観光資源・イベント情報等を抽出し、リスト化及びマップ化

第2部：他地域に見るワイズユース

⇒国内外のワイズユース事例を収集し、釧路湿原の取組みに係わり深い事例の概要とりまとめ

第3部：釧路湿原の新たな活用と作法（活用の具体案とその作法）

⇒これまでの小委員会で提案頂いた利活用施策の整理

⇒カヌーガイドライン（作法・マナー）の作成

### ○スケジュール

令和2年度中にまとめる

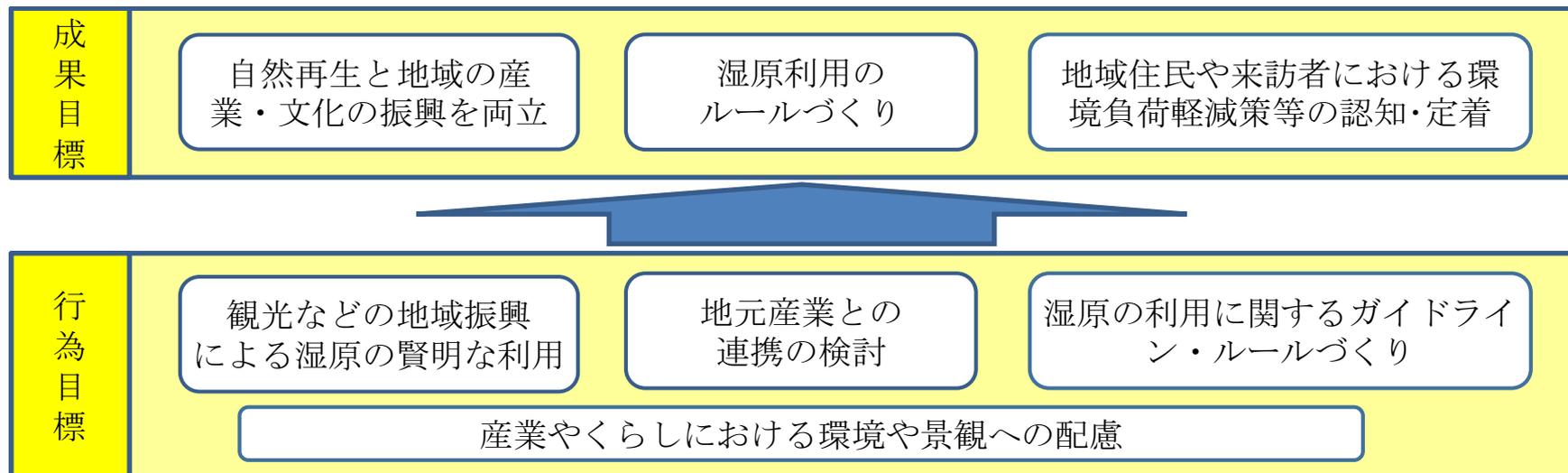
## ■地域づくり小委員会について

『第1回地域づくり小委員会資料』より抜粋

### 【目標達成に向けた施策】

～自然再生を通じた地域づくりの推進～

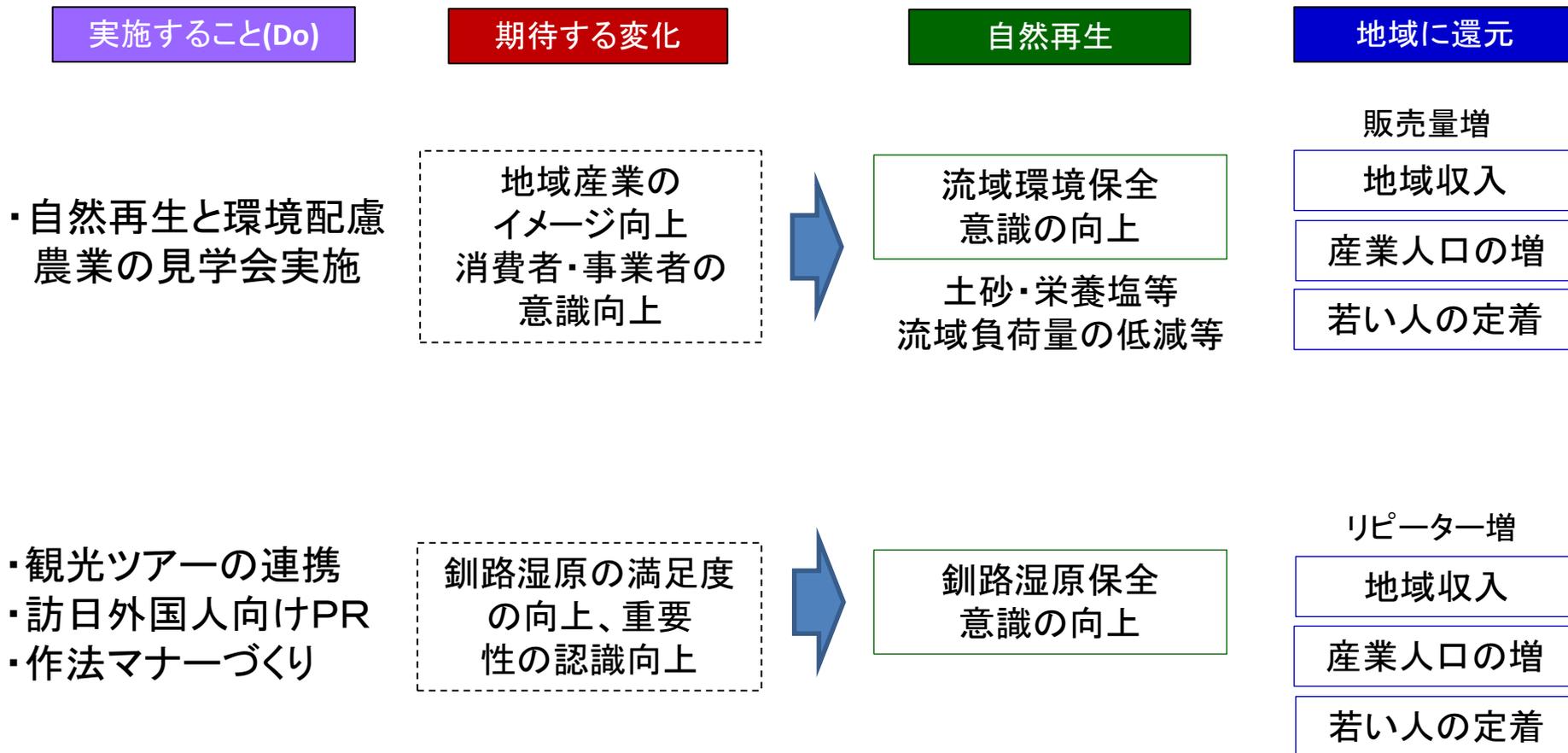
地域産業と連携した湿原の「ワイズユーズ(賢明な利用)」により、釧路湿原を保全・再生することによって、将来にわたり地域産業が豊かになる取り組みを進める。



地域の未来のための具体的な取り組みに向けて

- ・小委員会の方向性
  - ・さらなる利活用の推進に向けた方向性 等
- を明確化するとともに共有し、
- ・一般の方の理解、共感を得やすく
  - ・誰もが参加しやすい
- 地域づくりビジョンを作成

■今年度の実行案の例



地域還元と自然保全を両立  
(持続的な利用)

# 委員事案

## (利活用の取り組み)

すでに動き始めていること

○委員事案(釧路開建治水課)

- ・農業事業者と連携して自然再生見学会
- ・かわたび北海道を釧路湿原とつなげる

(ツアー連携の試行、外国人向けの情報発信等)

# 水循環小委員会「自然再生 現地見学会」

開催日：令和元年11月20日  
参加者：30名

別紙2  
**参加無料**

釧路湿原自然再生協議会

## 「水循環小委員会」現地見学会

令和元年 **11月20日(水)**

- 集合・解散 釧路地方合同庁舎  
8：50集合・16：30解散（8：30受付開始）
- 定員 **先着30名**

■内容

釧路湿原における水や土砂・化学物質などの物質循環のメカニズムを把握し、健全な維持を図るための取組が行われています。釧路湿原の自然再生事業箇所と環境に配慮した農業生産法人の活動とおして、釧路湿原の自然再生を学ぶ現地見学会です。



- 持ち物  
長靴、軍手、汚れても良い服装（防寒着）、飲料水、昼食等
- 申込み・問合せ先 釧路開発建設部 治水課
- 申込み方法
  - ①TEL 0154-24-7250（平日9：00～17：00）
  - ②FAX 0154-24-6839
  - ③Email hkd-ks-river@mlit.go.jp
  - ④郵送 〒085-8551 釧路市幸町10丁目3番地
- その他
  - 悪天候等による中止時は、運営を担当する(株)北開水工コンサルタントからご連絡いたします。
  - 参加者はレクリエーション保険に加入します。（主催者負担）

【主催】釧路湿原自然再生協議会 水循環小委員会  
地域づくり小委員会  
再生普及小委員会  
国土交通省北海道開発局 釧路開発建設部

※個人情報は本見学会の運営のため、保険加入及び連絡等で使用し、見学会以外の目的では利用いたしません。

## 【目的】

- ・釧路湿原における水・物質循環のメカニズムを把握し、健全な維持を図るための取組みを知る。
- ・釧路湿原の自然再生事業箇所と環境に配慮した農業生産法人の活動を通して、釧路湿原の自然再生を学ぶ。

## 水と物質循環を見学



## 適正な管理による湿原への負荷低減



**参加申込み用紙** 申込み期限：令和元年 **11月13日(水)** まで

釧路開発建設部 治水課 宛 **Mail : hkd-ks-river@mlit.go.jp** (電話や郵送でのお申込みも受け付けております。)  
**FAX : 0154-24-6839**

①	氏名 <small>携帯電話</small>	所属・勤務先
②	氏名	③
		氏名

農業環境に配慮した取り組み  
(エフ・シー・エス)



牛糞の発酵処理による敷き藁や堆肥としての利用

土砂や栄養分の流入による湿原影響



周辺流域の取り組みの重要性と近年の効果

# かわたび北海道の推進



水門内部で説明に聞き入る参加者

四季折々に変化する自然環境や魚介類、農産物などの食材が豊富にありながら、観光では過遊感なく、

【釧路町】自然や産業、歴史、食をテーマに町内を巡るモニターツアーが5日、行われ、釧路管内の4歳から76歳までの37人が新たな町の魅力を体験した。同ツアーは、町が今年度から進める観光ルート造成事業の一環。

モニターツアー「自然や食テーマに

## 新たな町の魅力体験

釧路町

「釧路町」自然や産業、歴史、食をテーマに町内を巡るモニターツアーが5日、行われ、釧路管内の4歳から76歳までの37人が新たな町の魅力を体験した。同ツアーは、町が今年度から進める観光ルート造成事業の一環。

(河辺由紀子)



釧路新聞  
2019年10月10日朝刊

下りを体験した。昼食は別保公園で町内産の海鮮パベキユーが振る舞われ、新鮮な魚介類と旨味を打った。参加者からは「普段見られない水門の内部や役割が町観光商工課では、ツアー方針だ。

釧路町馬車ルート  
造成事業委託業務

### バスガイドさんで行く!

# 釧路町が誇る釧路湿原を満喫できるモニターツアー

モニター犬募集!!

## モニターツアー

開催日

令和元年  
**10/5** 土

モニターツアーにつき参加費用

**0**円

応募期間：令和元年 9月17日(火)～9月25日(水)

定員：40名 ※定員を超えた場合抽選を行います。

※当選された方には、9月26日(木)13:00～17:00の間に、メールにてご連絡を致します。

参加条件：  
●1組4名様まで ●4歳以上(カヌー参加条件より)  
●ツアー当日に行く、2回のアンケートを必ず記載すること

お申し込み方法：  
○ネットお申し込み…<https://e-bustabi.com/>

お問合せはコチラ [平日(土曜・日曜・祝祭日を除く) 10:00～17:00]

旅行取扱  
お問い合わせ

旅行業登録 北海道知事 第2-289号

**釧路衛星株式会社**

北海道釧路郡釧路町中央3丁目50番地

TEL **0154-40-4151**

FAX **0154-40-3142**

委託元 釧路町経済産業経済課商工観光係 釧路町別保1丁目1 TEL.0154-62-2193 専用バス：釧路バス 釧路町馬車ルート



# かわたび北海道の推進

横堤防を見ながら  
釧路湿原の治水効果の関わり

ししゃもの産卵床など水産資源  
との関わり

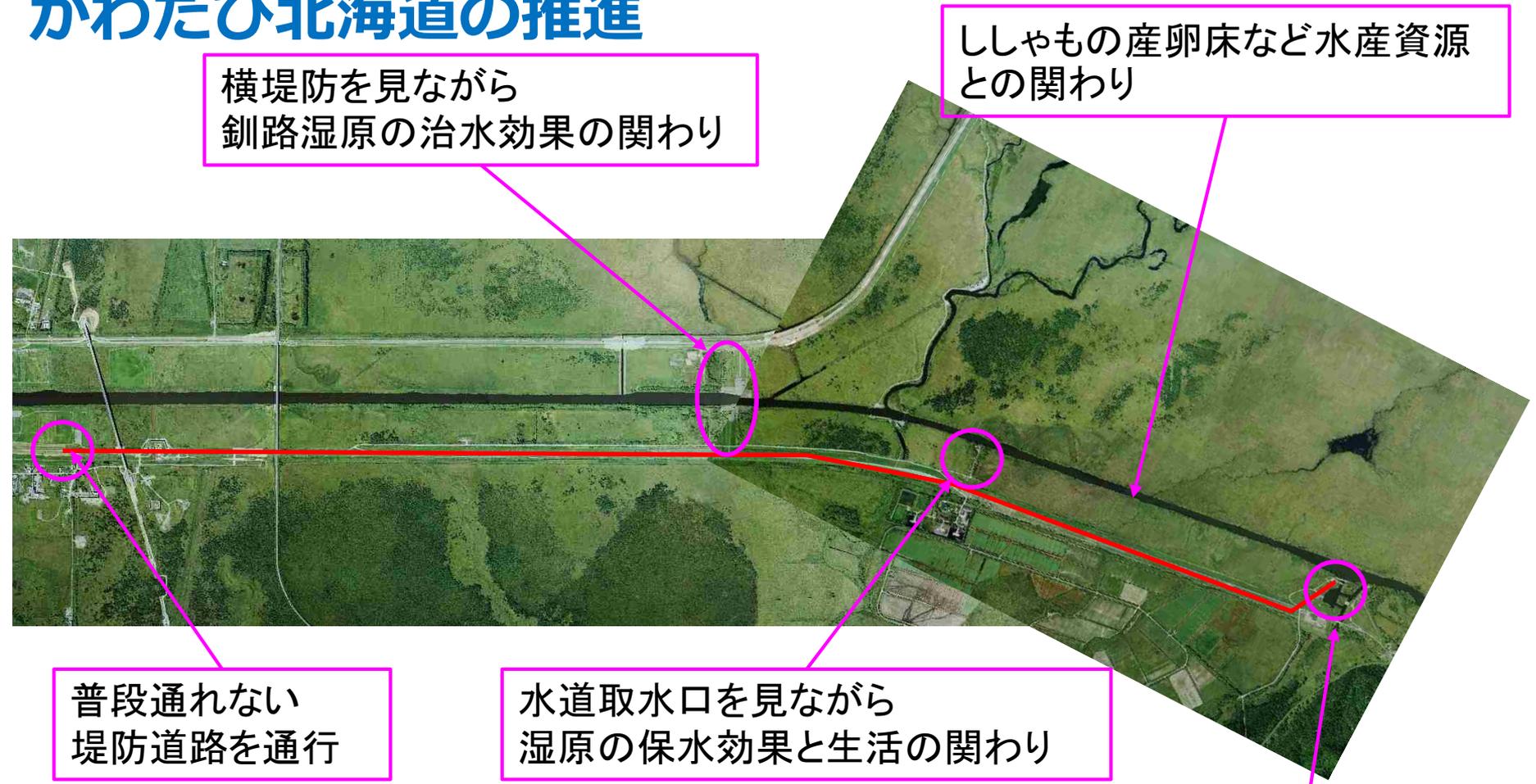
普段通れない  
堤防道路を通行

水道取水口を見ながら  
湿原の保水効果と生活の関わり

旧岩保木水門の中を解放  
して治水の歴史紹介

## 連携ポイント

市街部と自然空間の接点を通して  
湿原の重要性を紹介

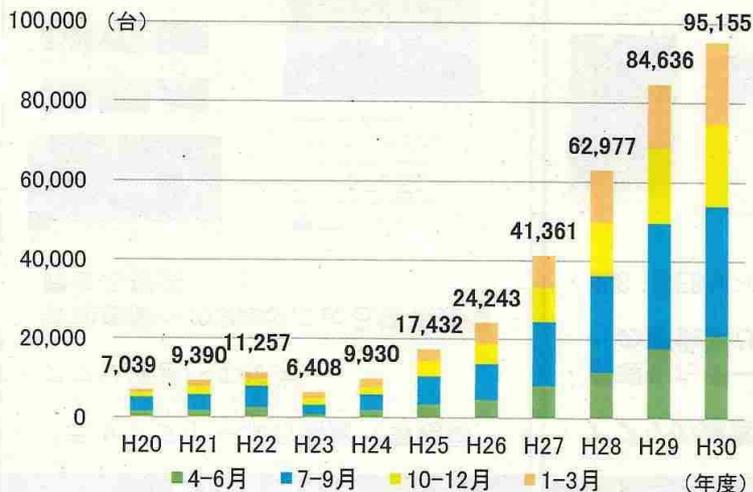


# かわたび北海道の推進

## 北海道観光の状況② レンタカー貸渡の概況

「世界の北海道」を目指して  
—北海道総合開発計画—

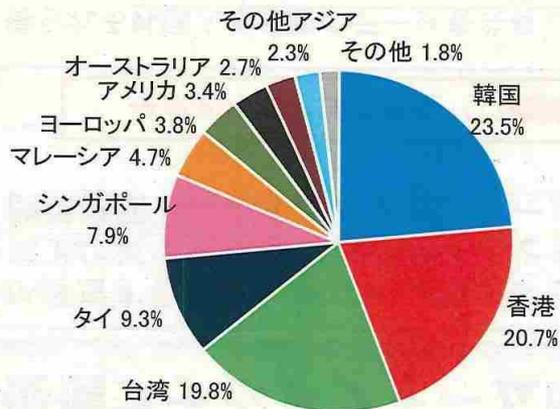
外国人レンタカー貸渡台数の推移



月別外国人レンタカー貸渡台数の推移



国籍別レンタカー貸渡台数 (平成30年度)



出典：北海道地区レンタカー協会連合会調べ

# かわたび北海道の推進

## 道の駅を拠点とした外国人ドライブ観光促進の枠組み

「世界の北海道」を目指して  
—北海道総合開発計画—

釧路・根室・オホーツク地域の一部の**20市町村の行政、観光協会、シーニックバイウェイ等の広域連携**のもと、**地域ならではの観光情報**を情報発信拠点とする**道の駅に集約し、外国人観光客に対して周辺情報を一元的に発信**することで、**周辺地域の更なる周遊を促進**

### 道の駅を拠点としたドライブ観光協議会（仮称）

#### 北海道開発局（事務局）

- 試行の枠組みの構築及び試行全体の実施支援
- デジタルツールを用いた地域ならではの観光情報等の発信



#### 複数の道の駅（情報発信拠点）

- 休憩、買物、情報収集等の多様な目的で観光客が立ち寄る道の駅の特徴を活かし、**周辺地域の観光情報等の一元的発信**による**周辺地域への外国人旅行者の誘導**



道の駅で発信した情報の旅行者による閲覧状況（平成30年度の事例）

#### 20市町村の行政・観光協会・シーニックバイウェイ等

- 各地域が外国人旅行者に発信したい**地域ならではの観光情報（旬・コアな情報）等の道の駅への提供**



道の駅の情報発信機能の強化並びに**周辺地域の情報発信機会の創出及び外国人旅行者の増加**が期待される  
インバウンド対策の強化をテーマとして、道の駅と地域がともに育つ新たな広域連携の枠組みの構築を企図

今年度の  
拡充内容

情報発信拠点  
対象地域

平成30年度

道の駅摩周温泉（**1箇所**）  
弟子屈町周辺の市町村（**14市町村**）  
→外国人観光客の周遊促進に有効であることを確認

拡充

令和元年度

複数の道の駅に拡大（**9箇所の道の駅からスタート**）  
釧路・根室・オホーツク地域の一部に拡大（**20市町村**）  
→道の駅のネットワークを活かした外国人観光客の**2**の周遊促進に向けた情報発信方策の検討を推進

# かわたび北海道の推進

## Let's ask the tourist office

Kushiro Wetland Hosooka Observation Deck (Kushiro River) 釧路湿原細岡展望台(釧路川)	About
	7 5 minutes
	6 3 km by car

Let's enjoy the great view of Kushiro Wetland, Japan's largest one, and Kushiro River.



Hosooka Observation Deck is a good viewing spot of the Kushiro Wetland and Kushiro River, where much of the precious and wonderful nature is being lost in Japan has been preserved. You can taste the soft ice cream or so at the cafe corner in the Hosooka Visitor Lounge nearby the deck.

<b>Hours</b>	Jun. (6月) -Sep. (9月) 9:00-18:00	Oct. (10月) -Nov. (11月) 9:00-16:00
<b>Closed</b>	年末年始 (Dec.31—Jan.5)	
<b>Adress</b>	22, Takkobu, Kushiro Town 釧路町達古武22	
<b>others</b>	<a href="https://www.env.go.jp/en/nature/nps/park/kushiro/guide/view.html">https://www.env.go.jp/en/nature/nps/park/kushiro/guide/view.html</a>	

No reservation needed 予約：不要  
There's a parking lot 駐車場あります  
soft ice cream is Until mid October ソフトアイスは10月中旬まで



MAPCODE® 149 654 462\*51

## Let's ask the tourist office

Onnenai Wooden Path in Kushiro Wetland (Onnenai Visitor Center) 釧路湿原温根内木道 (温根内ビジターセンター)	About
	6 5 minutes
	5 2 km by car

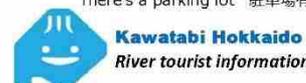
How about walking in the Japan's largest wetland, where precious and amazing natural landscapes still remain?



Onnenai Wooden Path is a popular and precious foot path, along which walkers feel the touches of seasonal flowers and animals of Kushiro wetland very closely. Onnenai Visitor Center located nearby provides information for visitors and a place for rest and communication.

<b>Hours</b>	Apr. (4月) -Oct. (10月) 9:00-17:00	Nov. (11月) -Mar. (3月) 9:00-16:00
<b>Closed</b>	Tuesday, 年末年始 (Dec.29—Jan.5)	
<b>Adress</b>	Onnenai, Tsunui Village 鶴居村温根内	
<b>others</b>	<a href="https://www.env.go.jp/en/nature/nps/park/kushiro/guide/view.html">https://www.env.go.jp/en/nature/nps/park/kushiro/guide/view.html</a>	

**Kushiroshitsugen National Park**  
No reservation needed 予約：不要  
There's a parking lot 駐車場有



MAPCODE® 149 699 199\*16

## ●フィードバック(水循環小委員会・地域づくり小委員会共催の現地見学会)

湿原への環境負荷の軽減と一次産業との関係

- ・ブランド商品(星空の黒牛)が環境負荷軽減とつながっている

生産者とのコミュニケーション

- ・釧路湿原の自然再生とリンクしていることを生産者と共有する

自然再生事業にも良い効果

- ・見学会に付加価値が付き見学参加者の満足度も向上

## ●フィードバック(モニターツアーとの連携試行)

一般ツアーへの付加価値

- ・既存湿原空間でツアーに価値をつけられる

自然再生協力基金の可能性

- ・ツアー料金への上乗せが、自然再生への協力意識にむしろつながる

## 今後の取り組み

### ☆農業事業者等との連携

- ・環境に配慮した事業者との連携した取り組みを継続

### ☆観光ツアー等での連携

- ・自治体や事業者のニーズを踏まえた支援を実施  
(サイクリング等)

### ☆情報発信

- ・訪日外国人向け情報発信や他の情報発信者と連携を実施  
(道の駅、観光雑誌等)